

-----6月17日----- 2024年

※ 今週のアウトルック(6/17~6/21)

先週は、水曜日と金曜日にある程度の動きがありましたが、週足で確認すると全体的な動きは小さいものとなっています。FRBの年内1回の利下げコメントは、それほど材料視されておらず、日銀の国債買い入れ方針やフランスなどの政治的要因が材料視されているようです。今週は、この材料視されている点が今後、市場でどのように評価されていくのか、その点をまずは注目する必要があるようです。

先週のドル円は、先週水曜日にFRBの利下げ方針コメントを受けて一時的に下落しました。金曜日には、今後の日銀の国債買取方針を受けて、158円超えとなる場面もありましたが、その後下落し、157円台前半で週末を迎えています。158円付近のレジスタンスは、意外と厚いもののようです。

今週はまず、フランスなどの政治的要因が注目されそうです。ユーロドル1.06を割り込むような事があれば、ドルをめぐる環境が大きく変わる可能性も出てくるかもしれません。

ドル円の予想レンジは155円から159円です。

ユーロ円は先週、フランスの政治的要因から一時ユーロドルが1.06台まで下落しました。ユーロ円も168円付近のサポートラインを一時的に割り込んでいます。

今週はまず、フランスの政権動向に注目が集まりそうですが、極右政党が政権を取る可能性が、今以上に強まった場合には、ユーロドルは1.06割れを狙う動きが活発化しそうです。

ユーロ円の予想レンジは165円から170円です。

ポンドも先週後半、ポンドドルが大きく下落しました。ポンド円も200円を割り込んで週末を迎えています。今週、202円付近のレジスタンスをブレイクして上昇することは難しいように思います。

ポンド円の予想レンジは195円から201円です。

今週は米国雇用統計とFOMCを消化して、通例では落ち着く週となりそうなのですがフランスなどを中心とした政治的要因が、どのような影響を与えるのか、そのあたりを注目していきたいと思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。